

タダラフィル連日投与における男性泌尿器症状と生活の質 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 29 年 9 月 8 日～平成 31 年 3 月 31 日

〔研究課題〕 タダラフィル連日投与における男性泌尿器症状と生活の質に関する後方視的研究

〔研究目的〕 タダラフィルは前立腺肥大症に対する第一選択薬ですが、排尿を改善する作用の他に、様々な作用があると報告されています。今回の検討では、排尿機能の他に、性機能や生活の質がこの薬で改善したかどうかを検討する予定です。

〔研究意義〕 タダラフィルの副次的効果を明らかにすることにより、本治療のメリットが、多くの方に認識されたいと考えています。

〔対象・研究方法〕 帝京大学泌尿器科にて前立腺肥大症の診断のもと、上記の薬物療法を受けた症例。分析に用いる主な項目と内容は AMS スコア、SHIM、SDS、IPSS、QOL、OABSS、SF36 などの各種症状スコアと血液検査(PSA, LH, FSH, テストステロン, コルチゾールなど)です。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部 泌尿器科学 講座

〔個人情報の取り扱い〕 個人が特定される形で臨床情報が公表されることはなく、対象者が不利益を蒙ったり、人権が侵されたりすることはありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者: 帝京大学医学部泌尿器科学講座 講師 木村将貴

研究分担者: 帝京大学医学部泌尿器科学講座 教授 中川 徹

住所: TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 7306]